

令和2年度

事業報告書

(自) 令和2年4月 1日

(至) 令和3年3月31日

社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

目 次

令和2年度事業概要	1 ページ
-----------	-------

社会福祉事業

I. 社会福祉事業拠点区分	2 ページ
1 法人運営事業	
2 地域福祉活動事業	
3 共同募金配分金事業	
4 福祉サービス利用支援事業	
5 生活福祉資金貸付事業	
II. 施設経営事業拠点区分	16 ページ
1 老人福祉センター事業	
2 金立いこいの家事業	
3 松梅児童館委託事業	
III. 介護保険等事業拠点区分	17 ページ
1 居宅介護支援事業	
2 通所介護事業	

公益事業

IV. 認可外保育施設運営拠点区分	18 ページ
1 松梅保育所運営事業	

その他の事業

V. その他の事業	18 ページ
1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力	
2 日本赤十字社事業の推進	

令和２年度事業概要

佐賀市社会福祉協議会では、佐賀市とともに策定した、「第３期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」（計画期間：平成２８年度～令和２年度）の最終年にあたり、地域福祉を進めるためのさまざまな事業に取り組みました。

特に、令和２年度においては、コロナ禍における地域福祉の推進となり、試行錯誤しながら、地域福祉を進めるための事業を実施しました。

そうした中で、高齢者サロン活動の中止が続いた期間もありました。佐賀市社会福祉大会においては、これまで、佐賀市における社会福祉関係者が一堂に会するイベントとして開催してきましたが、各関係団体の長のみでの参加に限定した上で、佐賀市福祉功労者表彰式としての開催を余儀なくされたところです。

こうした取り組みの結果、年末の時期においては、地域の皆さんが“できることからの福祉活動”として、訪問活動を中心とした一人暮らし高齢者宅の訪問活動を積極的に推し進めていただき、市社協としてもコミュニティソーシャルワーカーをはじめ、事業担当者で後押しを出来たことは非常に大きかったのではないかと考えています。

一方、平成１７年、平成１９年の２度の合併以降、事業や活動については、基本的に合併前の状況を引き継いで実施してきましたが、合併後十数年を経る中で地域共生社会の実現に向けた取り組み等、新たな対応への見直しを図る必要がありました。それと同時に厳しい財政運営上の課題の解消を図る必要がありました。そこで、令和２年度においては、こうした課題を解消するために、令和３年度からの事業や活動の見直しと、それを遂行するための組織体制の構築に向けた取り組みを行いました。

これは、“地域共生社会の実現に向けた取り組み“として旧佐賀市内でモデル的に実施してきた活動（コミュニティソーシャルワーク）を佐賀市全域における活動とするとともに、これまでの本所・７支所の体制から本所・南北連絡所体制へ移行し、事務的経費の節減により財政運営上の課題も解消する取り組みです。今後も引き続き、コミュニティソーシャルワークの一層の充実とより堅実な財政運営が求められますが、佐賀市における地域福祉推進の中核機関として新たな体制を整えることができました。

社会福祉事業（464,782,055 円）

I. 社会福祉事業拠点区分（354,111,134 円）

1 法人運営事業（201,700,713 円）

（1）役員会開催状況

- ① 第1回理事会 令和2年6月3日（出席12名 欠員1名）
 - 第1号議案 令和元年度事業報告並びに資金収支決算について
 - 第2号議案 理事の補充選任候補者の推薦について
 - 第3号議案 評議員の補充選任候補者の推薦について
 - 第4号議案 評議員選任・解任委員の選任について
 - 第5号議案 苦情解決第三者委員の選任について
 - 第6号議案 令和2年度定時評議員会の開催について
- ② 第2回理事会 令和2年9月28日（出席13名 欠席0名）
 - 第1号議案 令和2年度第1回資金収支補正予算について
 - 第2号議案 評議員の補充選任候補者の推薦について
 - 第3号議案 評議員選任・解任委員の招集について
- ③ 第3回理事会 令和2年12月7日（出席13名 欠席0名）
 - 第1号議案 定款の一部変更について
 - 第2号議案 令和2年度第2回資金収支補正予算について
 - 第3号議案 令和2年度第2回評議員会の招集について
- ④ 第4回理事会 令和3年3月29日（出席12名 欠席1名）
 - 第1号議案 令和2年度第3回資金収支補正予算について
 - 第2号議案 令和3年度事業計画並びに資金収支予算について
 - 第3号議案 経理規程の一部改正について

（2）評議員会開催状況

- ① 定時評議員会 令和2年6月30日（出席16名 欠席5名 欠員2名）
 - 第1号議案 令和元年度事業報告並びに資金収支決算について
 - 第2号議案 理事の補充選任について
- ② 第2回評議員会 令和2年12月21日（出席19名 欠席3名 欠員1名）
 - 第1号議案 定款の一部変更について

（3）評議員選任・解任委員会開催状況

- ① 第1回評議員選任・解任委員会 令和2年10月15日（出席5名）
 - 第1号議案 評議員の補充選任について

（4）監査状況

- ① 令和元年度事業・会計監査
令和2年5月19・20日

（5）苦情の受付及び解決状況

苦情解決システム管理要綱に基づき、利用者等からの苦情について適切な解決を図った。
(対応件数3件)

（6）福祉バスの運行

団体会員として登録している市内の各種福祉関係団体・サロン等が、研修・ボランティア活動等を行う際、円滑な活動ができるよう、マイクロバスの運行を行った。

運行件数：100件

(7) 実習生の受け入れ

種別	人数	実習期間	学校・事業所
社会福祉士	3名	23～24日	長崎国際大学、西九州大学
老人センター見学実習	27名	1日	佐賀県立総合看護学院

【評価・課題】

社会福祉法に定められた社会福祉法人の目的を達成するために、運営基準に則して適切な運営を行った。事業並びに運営のために必要な財源確保が課題である。

2 地域福祉活動事業（89,787,009円）

(1) 企画・広報費（4,517,459円）

① 佐賀市福祉功労者表彰式（佐賀市社会福祉大会の代替え）

コロナ禍における開催のため、本来の社会福祉大会を縮小して行った。これまでに、社会福祉に功労のあった方を表彰することにより、社会福祉事業の振興発展を目的に開催した。

期日：令和3年2月16日 場所：佐賀市文化会館イベントホール 参加者：約100名

② 社協だより“愛・あい”並びに支所だよりの発行

社会福祉協議会の事業を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため、年4回（春・夏・秋・新春号）市内全世帯及び事業所に配布した。

支所が行う事業並びに地域活動を紹介し、社会福祉協議会活動の理解や地域活動の活性化を図るため支所だよりを作成し、配布・回覧した。

③ ホームページの運用

佐賀市社会福祉協議会の事業・活動を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため作成・公開した。

(2) 地域福祉活動計画策定事業（1,045,085円）

計画策定推進委員会を4回開催し、第4期地域福祉活動計画（令和3年～令和7年）を策定した。策定過程においては委員会だけでなく、市民アンケートや団体ヒアリングを行い、直接意見を聴く機会を作り、計画に反映されるようにした。

(3) ボランティアセンター事業（1,675,510円）

ボランティアセンター事業

市民のボランティアに対する意識高揚と参加を促進するとともに、ボランティアのコーディネート機能を活かし、ボランティアの活動基盤を整備することで活性化を図った。また、佐賀市ボランティア連絡協議会の充実を図るため、年5回の役員会を実施し情報の共有を図っていった。

① センター運営事業

・ ボランティアコーディネート機能の強化

市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるとともに、ボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めた。

・ 各ボランティア連絡（推進）協議会及びボランティア団体等との連携

各ボランティア連絡（推進）協議会やボランティア団体が開催する事業・研修会・定例会等への協力・連携を図った。

・ ボランティア活動保険の活用促進

登録団体のボランティアが安心して活動に取り組めるよう、ボランティア活動中の事故に備えてボランティア活動保険に関する情報提供を行うとともに、保険加入や事故受付事務を行った。 加入受付：76団体、2646名 事故申請：0件

② 助成事業

・ ボランティア活動（団体、協力校、連絡協議会等）の助成

社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神を育む事を目的に学校における取り組み

に対し、助成を行った。また、福祉活動の振興を図るため、佐賀市を拠点に社会福祉事業を行っているボランティア団体等に対して、活動に要する経費の一部を助成した。

助成校：3校（小学校：1校、中学校：1校、高等専修学校：1校）

ボランティア団体：37団体 ボランティア連絡[推進]協議会：7団体

③指導派遣事業

・福祉体験学習指導者派遣事業

地域、企業、学校等で開催される福祉総合学習（車椅子介助、アイマスク体験、高齢者疑似体験等）に指導者（クローバーの会）を派遣し、福祉教育の推進を図った。

種別	講座数（回）	派遣先
アイマスク	53	【学校】三瀬小、中川副小、諸富南小、高木瀬小、日新小、本庄小、富士小、嘉瀬小、兵庫小、開成小、思斉小、春日小、巨勢小、東与賀小、西川副小、諸富北小、成章中、致遠館中、城南中、久保泉小 【企業・地域団体】佐賀銀行 合計 21件
高齢者疑似体験	53	
車椅子体験	55	
合計	161	

④ 24時間テレビチャリティー募金活動等への支援

市内の福祉施設や団体、NPO法人等が行うチャリティー募金活動及び福祉車両等の寄贈申し込みの取りまとめを行った。

（４）災害ボランティアセンター事業

発災時、市民から復旧・復興活動が求められた場合に備え、速やかに活動の拠点となる災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者へのボランティア支援を行えるよう体制づくりを図った。

（５）高齢者ふれあいサロン事業（24,467,540円）※佐賀市委託

高齢者が住み慣れた地域や家庭で安心して暮らせるように、地域住民の協力により地域の様々な施設（地区公民館、集会所等）を利用し、高齢者や地域住民が気軽に集い、お互いに交流を深め、生きがいづくりや健康づくりを推進し、高齢者が閉じこもりや寝たきりにならないよう、自立生活の助長を図ることを目的に実施されるサロンに対し運営費の助成、また、併せてサロン設立や運営の支援等を行った。

新型コロナウイルス感染拡大予防のため昨年に比べ、開催数は自粛により減少した。

地区名	サロン数	開催数	参加者数	助成額(円)
勸興	4	27	505	310,000
循誘	15	138	2,113	1,069,267
日新	7	51	897	530,000
赤松	4	44	599	290,000
神野	12	83	1,932	950,000
西与賀	11	87	1,725	811,604
嘉瀬	5	26	356	255,000
巨勢	5	55	880	390,000
兵庫	12	111	1,504	860,000
高木瀬	9	79	1,970	780,000
北川副	12	159	2,453	860,000
本庄	8	98	1,770	660,000
鍋島	4	83	1,131	269,908
金立	8	186	2,437	630,000
久保泉	2	11	282	160,000
蓮池	4	38	568	290,909
新栄	10	442	6,443	843,133
若楠	3	8	78	181,482
開成	9	462	4,332	580,041

諸 富	15	202	4,043	1,190,038
大 和	25	382	5,426	1,889,600
富 士	6	63	1,116	440,000
三 瀬	6	59	869	4,200,000
川 副	28	302	4,342	1,843,558
東与賀	4	33	622	310,000
久保田	10	156	1,948	770,000
合 計	238	3,385	50,341	17,584,540

(6) 地域子育て支援センター事業 (13,051,067 円)

子育て中の親子が気軽に集うことができる広場を身近な地域に設置し、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援した。

① 子育て親子への交流の場の提供と交流の促進

- 交流の場の提供

子育て親子が自由に利用できる交流の場を設置した。

広場名	開館 日数	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
ふれあい広場 (諸富)	216	2,599	1,854	155
ふれあい一む (富士)	200	852	973	78
赤ちゃん広場 (ほほえみ館)	11	88	98	43
むつごろう広場 (ほほえみ館)	17	135	147	146

※赤ちゃん広場については今年度で終了となる。

- 交流の促進

地域のボランティアグループの協力により、「子育てサロン」を実施し、子育て親子や地域の方との世代間交流を図った。

ひろば名	実施 回数	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
ふれあい広場 (諸富)	43	432	369	159
ふれあい一む (富士)	42	274	385	78
赤ちゃん広場 (ほほえみ館)	10	128	139	49

② 子育て等に関する相談、援助の実施

子育てについて不安を抱えている親の相談に応じるとともに、定期的に専門家による「乳幼児育児・発達相談」や子育てに役立つ講座を実施することにより、子育て不安の解消を図った。

(単位: 件)

	相談内容別					形態別			合計
	育児	就園	親の問題	家族	地域	来所	電話	その他	
基幹	178	17	8	7	1	190	1	20	211
富士	5			1		1			1

③ 地域の子育て関連情報の提供

子育てに関する情報や支援センターのイベント等を紹介する情報紙を発行するとともに、市報等へ各広場で実施しているサロンや行事等の情報提供を行った。また、依頼があった子育て関係講座やイベント等のチラシやポスター等を設置し、来場者へ情報提供を行った。

④ 子育て及び子育て支援に関する講習等

広場に関わるサポーターの情報交換会を実施した。(参加者: 延50名)

⑤ サークル支援の実施

地域にある子育てサークル・施設に出向き、手遊び・読み聞かせ等を行い支援した。

⑥ 家庭訪問型子育て支援『ホームスタート』事業

子育てに不安を抱えながらも相談できずに悩みを抱え、閉じこもりがちな就学前の乳幼児のいる家庭を、ボランティアが訪問し、寄り添いながら「傾聴」と「協働」を通して、親が心の安定や自信を取り戻し、虐待など深刻な問題の発生を未然に防ぐとともに、地域へと踏み出すきっかけづくりを支援するために実施した。

家庭訪問の実施状況

集計項目	
新規利用者数	1 2
通常終了者数	2 7
途中修了者数	2
保留家庭数	0
利用者数	2 9
子ども数	5 9
訪問回数	2 1 4
延訪問回数（OG&HV）	2 7 3
登録ビジター数	2 5
活動ビジター数	1 2
登録オーガナイザー数	4

申込者の特徴	
多胎児家庭	4
多児による育児疲労	4
初産による育児不安	6
第二子誕生による育児疲労	9
精神的育児不安	4
若年母子	1
家族問題	1
母子家庭	1
DV が疑われる家庭	3

ホームスタートビジター研修会（定例会）開催…開催数：1回 参加数：20名

※ホームスタート事業については今年度で終了となる。

⑦ 乳幼児一時預かり事業

- ・ 広場での一時預かり（基幹・ほほえみ館・富士・大和）…子育て中の親が少しでもゆつたりと豊かな気持ちで過ごすことができるよう、また急用時をサポートするため広場の開所時間内で乳幼児の一時預かりを行った。（年間7名受入）

（7）多機関協働による相談支援包括化推進事業（15,480,564円）※佐賀市委託

- ・ 市役所福祉まると相談窓口相談支援包括化推進員を配置し、単独の相談支援機関だけでは対応が困難な複雑かつ複合的な課題を抱えた人や世帯の相談に応じるとともに、分野を超えた相談支援機関等のネットワークを構築し、それらの関係機関による連携した支援につなげた。

◆相談件数（年間相談件数及び連携件数）（単位：件）

相談	新規相談	調整	解決改善
976	610	147	829

◆相談者内訳（単位：件）

本人	202
地域（親族、知人、民生委員、近隣住民等）	128
関係機関（地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、障がい者相談支援事業所、生活自立支援センター、家計見直し相談室、消費生活センター、中部保健福祉事務所、医療機関、法テラス、ハローワーク、ひとり親支援団体、スクールソーシャルワーカー、市社会福祉協議会《CSW》）	96
佐賀市役所（保健福祉部、子育て支援部、市民生活部）	184
合計	610

◆相談後の調整機関内訳（単位：件）

本人	249
地域（親族、知人、民生委員、近隣住民）	103
関係機関（地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、障がい者相談事業所、生活自立支援センター、地域若者サポートステーション、家計見直し相談室、消費生活センター、居住支援団体、警察、保護観察所、シルバー人材センター、ハローワーク、法テラス、医療機関、地域生活定着支援センター、ひきこもり地域支援センター、公営住宅担当部署、市社会福祉協議会《CSW/貸付・あんしんサポート》）	268
佐賀市役所（保健福祉部、子育て支援部、市民生活部、経済部、農林水産部）	209
合計	829

◆相談支援包括化推進会議の開催

代表者会議 ※新型コロナウイルス感染症予防の観点から開催見送り	0回
実務担当者会議 ※新型コロナウイルス感染症予防の観点から開催見送り	0回
個別ケース検討会議	32回 (内主催 21回)

（8）地域力強化推進事業（18,634,257円）※佐賀市委託

- ・ 専任の地区担当（コミュニティソーシャルワーカー、略して「CSW」という。）を配置し、地域に

積極的に出向くことで地域住民が主体的に地域課題を把握し解決を試みる体制づくりを支援した。また、地域の中で孤立や困りごとを抱える世帯を包括的に受け止め、相談、助言、情報提供を行うとともに、必要に応じて支援機関に同行・連携することで地域課題の解決を図った。

<個別支援>

◆延べ支援件数（相談件数及び支援件数）

（単位：件）

	支援	新規相談	解決改善	調整
R 2 年度	1, 8 0 5	9 7	1 4 0	4 9
R 元年度	1, 3 7 6	6 8	6 8	8 7

◆相談者年齢

（単位：件）

3 0 代以下	4 0 代	5 0 代	6 0 代	7 0 代	8 0 代以上	不明
1 7	2 4	3 5	2 7	3 1	4 0	1 5

◆相談内容

（単位：件）

困窮・借金	6 9
認知症・障がい（疑いを含む）	6 8
就労・失業	2 8
住まい・ゴミ屋敷	5 1
引きこもり・不登校	3 8
孤立・生活不安	5 3
近所とのトラブル	2 7
その他	4 2

◆連携機関

地域	自治会長、民生委員、知人、近隣住民
関係機関	佐賀市役所、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、佐賀市生活自立支援センター、佐賀中部保健所、医療機関、成年後見人、マベック、警察

◆情報共有会議への出席（主催）

（単位：件）

行政	他機関	多機関	C S W	合計
5	5	2	3	1 5

<地域支援>

◆延べ支援件数 2, 2 6 2 件

◆新たな仕組みづくり支援

地域が自らの校区（地区）に新しいしくみづくりを進める際に、地域担当（C S W）として支援した。

（単位：件）

福祉協力員設置	2 5	神野 1 か所、東与賀 24 か所
高齢者サロン開設	1 2	西与賀 1 か所、嘉瀬 1 か所、巨勢 1 か所 北川副 2 か所、鍋島 1 か所、川上 1 か所、西川副 2 か所、南川副 2 か所、大詫間 1 か所
コミュニティカフェ開設 （お試し含む）	5	西与賀 1 か所、兵庫 1 か所、富士 1 か所、北川副 2 か所
合計	4 2	

※その他、あんしんカードや移動支援事業など新たな事業に対し支援を行った。

（9）地域福祉活動推進事業（10, 915, 527 円）

① 本所

・各福祉団体助成

佐賀市における福祉活動の振興を図るため、社会福祉事業を目的とする福祉団体等の事業及び運営に要する経費に対して助成金を交付した。

◆運営費助成（7団体）…佐賀市遺族連合会、佐賀市原爆被害者の会、佐賀市視覚障害者福祉協会、佐賀市肢体不自由児・者父母の会、佐賀市身体障害者福祉協会連合会、佐賀市母子寡婦福祉連合会、佐賀市老人クラブ連合会

◆事業助成

佐賀市自治会協議会研修費（佐賀市自治会協議会）

・児童遊園地整備助成

市内地区自治会が児童福祉対策として、児童遊園地の新設、増設及び補修を行った場合、市とともに助成金を交付した。

校 区	設置数(件)	助成額(円)	校 区	設置数(件)	助成額(円)
西与賀	3	148,300	春 日	1	51,100
本 庄	2	46,700	川 上	1	44,500
諸 富	4	145,700	東与賀	1	44,500
			合 計	12	480,800

・民生委員・児童委員支援事業

毎月の市民児協役員会及び会長会、地区民児協定例会に参加し、住民の福祉にかかわる地域福祉活動の推進を行っている民生委員児童委員の活動に対し支援・協力を行った。

・校区（地区）社協への活動費助成

「自分たちの地域の福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう。」という住民意識をもとに、小地域福祉活動を担う基礎組織として設置されている市内26の校区（地区）社会福祉協議会に対し協働で地域づくりに対しての支援と協力を行った。

◆校区（地区）社会福祉協議会運営費・活動費助成

各校区社会福祉協議会の運営・活動を支援するために、佐賀市と協調して助成を行った。

◆令和2年度の新たな校区（地区）社会福祉協議会の設置

校区（地区）	設立年月
三瀬校区社会福祉協議会	令和2年12月
久保田校区社会福祉協議会	令和2年12月
富士地区社会福祉協議会	令和3年 1月
東与賀校区社会福祉協議会	令和3年 2月
諸富地区社会福祉協議会	令和3年 3月
川上校区社会福祉協議会	令和3年 3月
中川副校区社会福祉協議会	令和3年 3月

◆校区（地区）社会福祉協議会役員会・会長会の開催

校区（地区）社会福祉協議会相互の連携と事業の協力調整をはかり、活動の増進と支援を行った。役員会（5回）会長会（5回）

＜校区社協スローガン決定＞

校区社協会長、市福祉総務課及び本会職員からもスローガン案を募集し、60の案の中から厳正な投票の結果、下記のとおり佐賀市校区社会福祉協議会のスローガンを決定し、今後、校区社協行事や資料に使用する。

スローガン「共に支え合う・地域福祉のまちづくり」

◆校区社協役員研修会（視察研修代替分）

「地域の災害対応力と受援力（支援を受け入れる力）」をテーマに、校区社協、自治会、民生児童委員、自主防災組織、ボランティアなど多様な主体が連携し、平時より連携体制の構築、強化に取り組むため、連携に関する基本的考え方、必要性などを理解し、今後の取り組みのきっかけとすることを目的に研修を行った。

期日 令和3年2月5日（金）

参加者 55名

講 演 「災害時における住民組織の役割」

～校区社協の取り組み状況と他住民組織との連携・協力～

講師：野添大介氏（佐賀県社会福祉協議会 総務企画課副課長）

実践報告 「佐賀市災害ボランティアセンターの取り組み」

～見えてきた課題 地域の目指すもの～

報告者：佐賀市社会福祉協議会福祉課

グループワーク 「自治会、民協、まち協、校区社協の関係性と連携」

「地域力の差「助けて！」が言い易い地域をつくるために私たちにできること」

・ 新たな居場所づくり事業（コミュニティカフェ）

地域の繋がりを再構築していくために、誰もが集える居場所づくり（コミュニティカフェ）の推進を図った。

	H30 年度	R 元年度	R 2 年度
カフェ設置数	16 カ所 (10 校区)	24 カ所 (13 校区)	28 カ所 (14 校区)
(うち新規)	11 カ所	8 カ所	4 カ所

・ 福祉協力員等設置推進支援事業

地域の実状に応じた福祉協力員の設置に向けた取り組みについて支援を行った。

	H30 年度	R 元年度	R 2 年度
福祉協力員数	1,934 名	2,088 名	2,206 名
地区数	20 校区	22 校区	22 校区

・ 小災害罹災世帯に対する見舞

災害により罹災者が物的・精神的な援護が必要な状況において、自力更生の一時的な援助を図るため見舞金及び見舞品を支給した。

	発生件数	罹災世帯数	罹災人数	見舞金（円）
火 災	4 件	5 世帯	10 人	110,000

② 支所

	事業名	参加数	事業額(円)
富士	高齢者憩の家事業	939 人	554,253
	出てこん場事業	323 人	
三瀬	高齢者生きがいづくり促進事業	24 人	26,527
合計			580,780

【評価・課題】

地域において福祉活動を展開する団体等に対し、助成金を交付するなどにより、地域福祉を推進を促進した。また、地区担当（CSW）を配置し、住民主体による地域づくりに対する支援を継続して行った。

今後、市内全域に拡充し地域福祉の推進を強化していきたい。

3 共同募金配分金事業（19,014,337 円）

(1) 歳末助け合い配分事業（6,527,150 円）

前年度、運動期間中（12月1日から1ヶ月間）に集まった募金を共同募金会佐賀市支会に設置した配分委員会に諮り、住民ニーズに応じた事業を展開した。

また、コロナ感染症拡大防止のため、事業縮小や中止の事業があったため、1,107,744 円を県共募に返還し、次年度に繰り越した。

本支所	事業名	事業総額(円)	配分額（円）
本 所	年末年始地域福祉交流事業(校区社協)	3,455,437	3,455,437
	事務費	277,850	277,850
諸 富	歳末地域交流事業(餅配布)	213,002	213,002

大 和	年末年始ふれあいまつり事業助成	10,000	10,000
	高齢者訪問安否確認助成事業（4校区）	472,000	472,000
富 士	世代間ふれあい交流事業（餅配布）	218,000	218,000
三 瀬	世代間交流事業（餅配布・しめ縄づくり）	87,000	87,000
川 副	年末年始地域福祉事業（4校区）	384,500	384,500
東与賀	歳末訪問交流事業	160,148	160,148
久保田	地域ふれあい訪問交流事業（高齢者世帯カレンダー配布）	67,639	67,639
	世代間交流事業（しめ縄づくり）	73,830	67,530
合 計		5,419,406	5,413,106

◆年末・年始地域福祉交流事業

各校区社会福祉協議会が自らの福祉課題に応じて行う年末・年始の事業に対し、助成を行うことで、地域での特性を活かした住民同士の交流を深めることができた。

地区名	事業内容	助成額(円)
勸 興	一人暮らしの方への年賀状、勸興まちの駅、ふれあい親子しめ縄づくり、ふれあいの集い	124,000
循 誘	もうすぐ正月祭	225,000
日 新	日新ライトファンタジー、しめ縄作り・ぶた汁会	286,000
赤 松	鯨の門まつり、一人暮らし高齢者へ年賀状制作	354,000
神 野	ふれあいサロンスタッフ研修会、ひとり暮らし高齢者交流会、ひとり暮らし高齢者クリスマスプレゼント、男性健康維持研修会	225,000
西与賀	年末交流はがき作成（小学5.6年生）、イルミネーション作成	58,900
嘉 瀬	しめ縄づくり指導者講習会、一人暮らし高齢者へしめ縄配布、高齢者世帯年賀状作成配布	120,000
巨 勢	グランドゴルフ大会、ミニ門松づくり、小学校昔遊び教室	106,000
兵 庫	友愛年賀状配布、一人暮らし高齢者クリスマスプレゼント	150,000
高木瀬	高齢者へのクリスマスプレゼント、三世代交流事業、こんにちは赤ちゃん訪問、ほんげんぎょう、友愛活動（誕生カード・プレゼント届）	416,537
北川副	児童と高齢者のしめ縄づくり、友愛年賀状配布、健マージャン教室、共に支え合う地域福祉の研修会	314,000
本 庄	グリーディングカード作成・配布（一人住まい高齢者）	251,000
鍋 島	独居高齢者への年賀状、救急救命講座、花壇づくり・花いっぱい美化活動	37,000
金 立	ふれあいの集い	119,000
久保泉	久保泉小生徒へ「無病息災」キーホルダー配布	68,000
蓮 池	芙蓉小生徒へ文房具クリスマスプレゼント	57,000
新 栄	三世代ふれあいグランドゴルフ大会、年末年始交流餅つき大会、ほんげんぎょう、クリスマスイルミネーション	244,000
若 楠	こどもクリスマス会・もぐら打ち、ほんげんぎょう	100,000
開 成	三世代グランドゴルフ、ほんげんぎょう、一人暮らし高齢者へ年賀状配布	200,000
合 計		3,455,437

(2) 共同募金配分金事業（12,487,187円）

- ① 佐賀県共同募金会の配分委員会の議決に基づく佐賀市社会福祉協議会への配分金事業として地域福祉推進事業や地域テーマ事業の福祉のまちづくり支援事業を行った。

また、コロナ感染症拡大防止のため、事業縮小や中止の事業があったため、724,323円を県共募へ返還し、次年度へ繰り越した。

[全事業]

本支所	事業名	事業額(円)	配分金充当額(円)
全市	車両整備事業（特別配分）	1,333,680	844,000

	福祉のまちづくり支援助成事業	1,115,842	885,000
	地域応援研修会	71,307	71,307
	生活支援困難者支援事業	144,146	144,146
	自治公民館備品整備助成事業	2,370,954	1,199,045
	在宅高齢者会食会等助成事業	697,870	697,870
本 所	校区社会福祉協議会運営費助成	4,429,400	4,429,400
	社協だより“愛あい”の発行 支所だよりの発行	5,000,600	600,000
	地域子育て支援センター	13,051,067	491,769
諸 富	福祉の地域づくり事業	95,298	95,298
大 和	大和まほろば広場（子育て支援事業）	1,625,041	212,800
富 士	ふれあいチャレンジ塾	56,710	30,159
三 瀬	三瀬ふれあいチャレンジ塾	61,050	61,050
	みつせマイルキッズと広場（子育て支援事業）	3,930	3,930
川 副	地域ふれあい交流事業	40,308	40,308
東与賀	よかっこ広場（子育て支援事業）	7,670	7,670
久保田	なかよし広場（子育て支援事業）	17,010	17,010
合 計			9,834,392

② 福祉のまちづくり支援事業助成

申請団体	事業名	事業総額(円)	配分額(円)
兵庫校区社会福祉協議会	安心・安全なまちづくり支援事業	205,725	160,000
北川副校区社会福祉協議会	地域福祉推進拡充事業	101,200	80,000
川上校区自治会	地域福祉推進拡充事業	210,650	168,000
勧興校区社会福祉協議会	地域福祉推進拡充事業	299,937	239,000
松梅校区自治会	安心・安全なまちづくり支援事業	298,330	238,000
合 計		1,115,842	885,000

③ 自治公民館備品整備助成事業

校 区	申請団体	整備備品	事業総額(円)	配分額(円)
循 誘	高木町自治会	エアコン	124,600	50,000
日 新	八戸町自治会	机	106,194	50,000
西与賀	厘外西自治会	ワイヤレスマイクセット	108,900	50,000
嘉 勢	十五自治会	椅子	99,000	50,000
兵 庫	西中野団地自治会	椅子	37,800	30,000
	県営兵庫団地自治会	椅子	40,000	32,000
高木瀬	上高木自治会	机、椅子	70,026	50,000
北川副	大崎区自治会	机、椅子	116,050	50,000
	西武藤自治会	机	76,000	50,000
本 庄	八田自治会	机	74,624	50,000
鍋 島	木ノ角自治会	掃除機	66,000	50,000
金 立	金立一区自治会	机	67,573	50,000
蓮 池	神埼町自治会	机、椅子	43,714	34,000
諸 富	徳富一区自治会	机、椅子	49,990	39,000
	諸富自治会	机	101,970	50,000
川 上	下戸田自治会	エアコン	263,560	50,000
	川上自治会	テレビ	128,700	50,000
松 梅	三反田自治会	エアコン	286,000	50,000
富 士	大野原自治会	エアコン	120,780	50,000
	上熊川自治会	掃除機	49,500	39,000
三 瀬	第9区自治会	机、椅子	64,350	50,000
南川副	18区南自治会	机	71,280	50,000

	南 25 区自治会	椅子	60,000	48,000
中川副	和崎自治会	椅子	43,560	34,000
久保田	江戸自治会	机、椅子	28,115	22,000
	下満自治会	掃除機、机	72,668	50,000
配分事務費				21,045
合 計			2,370,954	1,199,045

④ 在宅高齢者会食会等助成

地域の高齢者が公民館等で会食の機会を通して、地域の見守りのための「気づき・実践の場」となることを目的に、地区社協、地区民協等が行う会食会に対し助成を行った。

地区名	実施団体	開催数		参加者数		助成額(円)
		訪問	会食会	訪問交流	会食会	
勸 興	勸興校区社協	-	2	-	154	46,200
日 新	日新校区社協	3	-	357	-	71,400
赤 松	赤松校区社協	1	-	421	-	84,200
嘉 瀬	せいらんボランティア	-	1	-	13	3,900
巨 勢	ボランティア巨勢	-	5	-	92	27,600
	巨勢地区民児協	1	-	150	-	30,000
高木瀬	高木瀬地区民児協	1	-	93	-	18,600
北川副	ボランティア北川副	-	10	-	553	165,900
	北川副校区社協	1	-	204	-	40,800
鍋 島	ボランティア鍋島	2	-	526	-	105,200
久保泉	いずみボランティア	1	-	138	-	27,600
開 成	開成ボランティアひまわり	1	-	321	-	64,200
合計		11	18	2,210	812	685,600

※今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により会食会の開催を中止された地域が多くあったが、その代替えとして訪問交流活動に変更して地域住民の見守りに繋がる活動を実施された。

⑤ 地域応援研修会（福祉のまちづくり支援事業）

「地域共生社会に向けた地域（小学校単位）での仕組みづくり」をテーマに、これからの地域づくりのあり方について、すでに地域福祉の推進を目的に活動している校区社会福祉協議会の実践を学ぶことで、地域における新たな組織づくりに向けた一助になることを目的に研修を行った。

内容 各校区社協から先進的な取り組みについて実践報告

「地域共生社会に向けた仕組みづくりの実践を校区社会福祉協議会に学ぶ」

報告者 ①新栄校区社会福祉協議会 会長 田中 喜久子 氏

②久保泉校区社会福祉協議会 会長 山口 民生 氏

③兵庫校区社会福祉協議会 会長 柳川 清 氏

◆北エリア

期日 令和2年12月1日

場所 佐賀市大和支所庁舎

参加者 58名

◆南エリア

期日 令和2年12月4日

場所 佐賀市東与賀保健福祉センター

【評価・課題】

共同募金並びに歳末たすけあい募金配分金が、地域福祉推進団体（校区社協、民生委員・児童委員協議会、自治会、ボランティア団体等）の活動財源として活用され、地域福祉の推進につながった。

今後も、地域福祉推進団体と協議連携しながら、貴重な地域福祉推進の財源である配分金の有効活用を図って行く。

4 福祉サービス利用支援事業（23,685,336円）

① 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（11,636,161円）

- 「福祉サービス利用者の利益の保護」を図ることを目的に、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方が安心して自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等を行い支援した。

相談、契約・解約件数（令和3年3月末現在）

（単位：件）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談・問合せ	1,890	1,468	1,749	0	5,107
新規契約	11	1	6	0	18
解約	8	1	6	0	15

◆契約者数（令和2年3月末現在）

（単位：人）

支所名	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	相談実績 (件／年)	延支援件数 (件／年)
本所	37	30	24	1	92	4,615	1,534
諸富	2	1	0	1	4	43	43
大和	1	11	1	0	13	111	155
富士	2	0	0	0	2	12	25
三瀬	1	1	0	0	2	6	17
川副	4	2	2	0	8	109	197
東与賀	2	0	2	0	4	144	122
久保田	2	1	1	0	4	67	100
合計	51	46	30	2	129	5,107	2,193
令和元年度末	46	41	36	2	125	5,257	2,065

② 法人後見事業（3,733,444円）

- 法人（成年）後見人等として、身上監護や財産管理などの生活全般を継続的かつ長期的に支援し、被後見人等の権利擁護並びに意思決定支援を重視し、関係機関と連携・調整を行いながら後見業務を実施した。

	問い合わせ 相談件数	受任件数	類型内訳		
			後見	保佐	補助
令和 元年度	69件	18件	13件	4件	1件
令和 2年度	118件	23件 (これまでの受任 件数36件)	15件 (うち市長申立 件数13件)	7件 (うち市長申立 件数2件)	1件 (うち市長申立 件数0件)

	後 見	保 佐	補 助
支援件数	190件	55件	13件

支援内容	・ 定期的または突発的な対処のための訪問 ・ 日常生活に係る料金、利用料の支払い ・ 施設、病院等の利用契約 ・ 各福祉サービスの利用契約手続き ・ 相続関係手続き ・ 年金、金融機関等の手続き ・ 福祉・医療機関との調整会議 ・ 生活保護の申請手続き ・ 法的な手続き等 ・ 後見等終了後の親族、関係者への引継ぎ
------	--

・佐賀市成年後見制度利用支援事業を受託し、地域住民や企業に向けた権利擁護に関する広報のための研修会等を開催した。

・地域における権利擁護に関する研修会の開催

日 時	研修名	参加人数
令和2年 6 月	ライフサポートはる職員研修会	3 5
令和2年 6 月	金立いこいの家文化教養講座	4 5
令和2年 10 月	兵庫校区社協研修会	3 0
令和2年 10 月	佐賀銀行職員研修	8
令和2年 11 月	赤松校区社会福祉協議会研修	2 3
令和3年 3 月	大和老人センター文化教養講座	2 4
令和3年 3 月	北堀あったかサロン出前講座	1 5

③ 移送サービス事業（139,596 円）

- ・既存の交通機関による移動が困難な車椅子利用の高齢者や身体障がい者を対象に、ボランティアの協力のもと、車椅子搬送仕様自動車を利用した移送サービスを提供した。（利用対象地域：三瀬村、富士町、大和町松梅地区）

利用登録者：8名 利用回数：延42回 運転ボランティア：7名

④ 松梅児童クラブ事業（4,016,551 円）※佐賀市委託

- ・就労等のため、放課後に保護者がいない家庭の児童に対し、遊びと生活の場を提供し、児童を犯罪から守るとともに健全育成を図った。

場所：松梅保育所 開館日数：239日 利用児童数：延3,423名（平均14.3名）

⑤ 流水浴機器管理運営事業（2,305,000 円）※佐賀市委託

- ・市民の健康増進と、生涯を健康で過ごせる体づくりや生活習慣病の予防を目的に、温泉水を利用した三種類（スイムライフ、アクアビューティー、アクアファイブ）の流水浴機器を利用し実施した。利用者：延1,411名

⑥ 産業振興会館管理事業（1,854,584 円）※佐賀市委託

- ・地場産業の振興と、市民の福祉等の向上を図る産業振興会館の管理及び会議室等の貸し出しを行った。

大会議室		情報交流室		研修室		教養室		アトリウム		合計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
92	4,880	89	1,284	108	1,091	60	1,242	9	419	358	8,916

⑦ 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業

センター管理、会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行った。

大広間	会議室	市民相談室・ビ	相談室	調理室
-----	-----	---------	-----	-----

				リヤード室					
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
52	676	52	644	—	—	29	712	5	487
集団指導室		機能訓練室		診察室		歯科検査室		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
128	2,948	63	2,143	16	776	9	550	354	8,936

【評価・課題】

福祉サービス利用援助事業や法人後見事業の実施により、利用者の生活の安定や権利擁護につなげた。事業に対するニーズは年々増加しており、引き続き、事業の拡充を図る。

5 生活福祉資金貸付事業（19,923,739 円）

① 生活福祉資金事業（16,680,000 円）

金融機関からの借入れや公的貸付制度の利用が困難な所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者の属する世帯に対し、必要な資金の貸付けと相談援助を行った。また、貸付に結びつかなかった世帯に対して、関係機関へ繋ぐことで切れ目のない支援を行った。

対象世帯…低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯、失業中の世帯等

資金種類…生活福祉資金（総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金）

（単位：件）

	生活福祉資金	臨時特例 つなぎ資金	合計	内訳
相談等件数	83	0	83	総合5件、福祉20件、不動産1件 緊急17件、教育16件、その他24件
貸付件数	0	0	0	

貸付に至らなかったケースについては、今後の生活支援をしていくうえで関係機関等に情報提供をし連携を図った…佐賀市生活自立支援センター、地域包括支援センター、社協内地域担当（CSW）、佐賀市役所（生活福祉課・こども家庭課）他

生活福祉資金の特例貸付（コロナ特例貸付）

新型コロナウイルスの影響を受け、休業や失業などにより収入が減少、生活に困窮している世帯に対し貸付ける緊急小口資金及び総合支援資金の相談援助を行った。

（令和3年3月31日現在）

	緊急小口資金	総合支援資金	合計
相談等件数	—	—	6,480件
申請件数	1,142件	1,138件	2,280件
申請金額	201,240,000円	593,700,000円	794,940,000円

※1件の申請に対して2～3回の相談を受けることもあるため、相談件数と申請件数に差異が生じている。

② 福祉資金貸付事業（3,243,739 円）

- 低所得世帯の自立更生のため、他からの資金貸付が困難かつ緊急の場合に3万円を上限として貸し付けを行った。

件数（件）	金額（円）
相談・問い合わせ	120
貸付	132
償還	136
	3,104,378
	2,773,657

※1件の相談で複数の貸付を行うこともあるため、相談件数よりも貸付件数が多くなっている。

※貸付と償還の件数差は、1件の貸付に対し、最長6回までの償還回数となる場合があるため。

加えて生活困窮世帯に対して食糧支援を行った。

食料支援	105件 ・ 150人分（延べ）
------	------------------

【評価・課題】

コロナ禍において収入減少、生活困窮する世帯に対して、特例貸付の相談援助及び申請受付を行うことで、対象世帯の生活維持のための支援を行った。また、相談者に対し食料や生活用品の支援を行った。

Ⅱ. 施設経営事業拠点区分（77,818,413 円）

1 老人福祉センター事業（64,820,967 円）

高齢者が地域で安心して、心豊かに楽しく過ごせる場所を提供するため、市内5箇所（平松、巨勢、金立、開成、大和）の老人福祉センター等を運営した。各センターでは高齢者大学、クラブ活動や季節の行事などを行い、生きがいの充足、積極的な「仲間づくり」を進めている、また健康相談を実施し、健康で明るい生活を営んでもらうための事業の推進に努めた。

① 平松老人福祉センター事業（いきがい館平松）（19,948,802 円）

◆年間の利用者数

（単位：名）

	市内	市外	合計	1日平均
男	17,627	467	18,094	
女	10,504	71	10,575	
合計	28,131	538	28,669	102.8

※4月21日から5月9日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

※4月1日から5月31日まで同目的のため風呂の利用停止

◆佐賀市平松清風大学（開講日：火曜日ただし8月は休み）

長寿社会の中で、高齢者が積極的に学習に取り組むことで、生きがいを見つけ生活をより充実させることや、地域社会の活動に貢献できる人材を育成することを目的として実施した。

学生数 121名（1年生65名 2年生56名）

入学式 令和2年4月14日

卒業式 令和3年3月2日

講義 一般教養、郷土史、健康、園芸、企画学習（グループ討議、各学年ふれあい授業、自主企画授業）、1・2年生交流授業、同期生講師による講義、学生活動「文集ひらまつ」及び「学校新聞せいふう」の発行、運動会、研修旅行

講義数 1年生32回、2年生30回

クラブ活動 グラウンドゴルフ、園芸、絵手紙、パソコン、マージャン

※4月21日から5月26日まで、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休講

② 巨勢老人福祉センター（いきがい館巨勢）事業（17,326,640 円）※佐賀市委託

◆年間の利用者数

（単位：名）

	市内	市外	合計	1日平均
男	4,376	119	4,486	
女	6,029	287	6,316	
合計	10,405	406	10,811	.

◆巨勢シルバーカレッジ（開講日：原則、第1・第3木曜日ただし8月は休み）

高齢者が福祉社会をより深く認識し、より快適な暮らしを高める能力を身につけるとともに地域社会に貢献できるボランティアを育成することを目標として開設した。

学生数 48名（1年制）

入学式 令和2年4月16日

講義 一般教養、郷土史、健康づくり等

講義数 19回

修了式 令和3年3月18日

③ 開成老人福祉センター（いきがい館開成）事業（14,853,777 円）※佐賀市委託

◆年間の利用者数

（単位：名）

	市内	市外	合計	1日平均
男	5,911	0	5,911	

女	3, 4 9 8	0	2, 4 9 8	
合計	8, 4 0 9	0	8, 4 0 9	3 4. 5

④ 大和老人福祉センター事業（いきがい館大和）事業（12,691,748 円）※佐賀市委託

◆年間の利用者数

（単位：名）

	市内	市外	合計	1 日平均
男	1, 3 6 5	0	1, 3 6 5	
女	1, 8 2 4	0	1, 8 2 4	
合計	3, 1 8 9	0	3, 1 8 9	1 1. 4

◆大和いきがい文化講座（開講日：原則、第3水曜日）

高齢者が福祉社会をより深く認識し、地域社会に貢献できる教養を身につけることを目標として開設した。

学生数	3 0 名（1 年制）
開講式	令和 2 年 4 月 1 5 日
講義	ヨガによる健康づくり、郷土史、救急法等
講義数	1 1 回
修了式	令和 3 年 3 月 1 7 日

2 金立いきいの家事業

① 金立いきいの家（いきがい館金立）事業（12,997,446 円）※佐賀市委託

◆年間利用者数（感染症拡大防止のため4／21～5／10休館、台風接近のため9／7休館

（単位：名）

	市内	市外	合計	1 日平均
男	3, 0 6 7	2 5 0	3, 3 1 7	
女	5, 5 1 2	1 7 9	5, 6 9 1	
合計	8, 5 7 9	4 2 9	9, 0 0 8	3 2. 4

◆金立いきいの家文化講座（開講日：原則として第4金曜日）

本格的な高齢化社会を迎え、健康で明るい人生を送るために、「未知との出会い」、「人とのふれあい」、「学ぶよろこび」を再発見することを目的に開設した。

学生数	4 5 名（1 年制）
開講式	令和 2 年 6 月 1 2 日
講義	一般教養、健康づくり、園芸、郷土史等
講義数	1 3 回（1 6 回予定のうち4月、5月は中止）
修了式	令和 3 年 3 月 2 6 日

Ⅲ. 介護保険等事業拠点区分（32,852,508 円）

1 居宅介護支援事業

介護保険法により介護認定を受けた方の心身の状況や、その置かれている環境等を把握し、関係機関と連携を図りながら、希望に応じて適切なサービスを多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるようケアプラン作成、要介護認定調査、介護保険サービスの調整等を行った。組織・業務体制の見直しにより、令和3年1月末日をもって事業廃止。

① 居宅介護支援南部事業所（8,360,657 円）

介護支援専門員体制	3 名（常勤専従 2 名／兼務 1 名）
要介護認定調査	4 件
ケアプラン管理者数（令和 3 年 1 月末現在）	（単位：名）

介護度	人数
要介護（1～5）	5 4
要支援（1～2）	1 1

2 通所介護事業

要支援及び要介護認定を受けた高齢者が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・食事・レクリエーション等のサービスを提供した。

① 開成デイサービスセンター事業 (24,491,851 円)

実施日数 (日)	延利用者数 (名)	1 日平均 (名)
255	3,663	14.36

【評価・課題】

介護保険制度改正により、厳しい運営状況が続いている。各種の地域福祉活動を展開するための貴重な自主財源確保に資する取り組みではあるが、事業の継続については検討を要する。

公益事業 (16,785,000 円)

IV. 認可外保育施設運営拠点区分

1 松梅保育所運営事業

松梅保育所運営事業

① 松梅保育所運営事業 (16,785,000 円) ※佐賀市委託

松梅地区唯一の保育施設として、遊びを通した子どもの育成と「子育て家庭の支援」、「地域の子育て環境づくり」を柱とした事業を計画し、子どもの穏やかな成長を支えた。

開館日数(日)	利用者 (名)					1 日平均
	保育児	幼児	小学生	一般	合計	
258	3,600	64	62	45	3,771	15

○保育事業

○地域住民・児童生徒との交流事業

【評価・課題】

令和元年 10 月 1 日から市委託事業として運営。適切な運営に努めることにより事業の目的は達成できている。施設の老朽化が進み管理の面で徐々に支障が生じ始めている。

その他の事業

V. その他の事業

1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力 (佐賀県共同募金会佐賀市支会)

日本で唯一法律に基づいて行われる募金活動として、公的な福祉サービスでは支えられない分野の支援を行うため、佐賀県共同募金会佐賀市支会として募金活動を展開し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(1) 赤い羽根共同募金

「しあわせを みんなでねがう あかいはね」をメインテーマに、10月1日から12月31日までの3ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施した。

(単位：円)

種別 本支所	戸別募金	法人募金	街頭募金	学校募金	職域(資材)	その他	合計
本 所	9,663,232	2,221,497	20,369	136,439	1,411,120	195,363	13,648,020
諸 富	914,930	627,000	0	15,250	227,767	1	1,784,948
大 和	1,836,010	170,000	0	6,183	199,330	11,268	2,222,791

富 士	316,000	367,000	0	17,471	176,400	25,969	902,840
三 瀬	132,300	89,500	39,806	849	52,480	0	314,935
川 副	1,297,800	474,000	0	27,054	68,230	903	1,867,987
東与賀	818,300	209,000	0	5,101	154,310	15,763	1,202,474
久保田	746,200	199,000	0	7,255	145,680	3,023	1,101,158
県共募扱	0		0	4,460	48,868	65,013	118,341
合 計	15,724,772	4,356,997	60,175	220,062	2,484,185	317,303	23,163,494

(2) 歳末たすけあい募金

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、12月1日から12月31日までの1ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(単位：円)

種別 本支所	戸別募金	その他	合計
本 所	4,291,600	122,859	4,414,459
諸 富	285,700	8,650	294,350
大 和	542,260	33,705	575,965
富 士	113,000	38,904	151,904
三 瀬	37,800	11,000	48,800
川 副	372,400	10,237	382,637
東与賀	233,800	2,400	236,200
久保田	213,200	2,550	215,750
合 計	6,089,760	230,305	6,320,065

2 日本赤十字社事業の推進（日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区）

国際救護活動や災害救護活動等の人道的使命に基づき、国内外で事業を実施している日本赤十字社の佐賀市地区として、赤十字事業の普及と事業推進に必要な資金を確保するため社員の確保に努めた。

(単位：円)

本支所	会費・寄付金	本支所	会費・寄付金
本 所	11,090,723	川 副	1,992,500
諸 富	1,252,750	東与賀	1,167,000
大 和	2,679,050	久保田	1,066,000
富 士	452,000	合 計	19,889,023
三 瀬	189,000		

(1) 各種講習会

佐賀県支部が開催する各種講習会の開催を積極的に推進するとともに、市内で行われる救急法などの講習に講師又は指導員の派遣調整を行った。

① 2020 赤十字運動月間「防災セミナー」（コロナ感染症拡大予防のため中止）

② 講習への講師（指導員）派遣

救急法：2ヶ所、幼児安全法：1ヶ所

(2) 防災・減災活動等への取り組みに対する助成

校区自治会及び自主防災組織等が、防災・減災意識の高揚を目的に実施する防災・減災活動及び研修会、講習会等に対して助成金を交付し、地域における日本赤十字社活動の普及と誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進を図った。（コロナ感染症拡大予防のため中止）

助成金交付：0校区

(3) 災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は日本赤十字社佐賀県支部を通じて被災地へ送金した。

「平成28年熊本地震災害義援金」 3,425円

「平成29年7月5日から的大雨災害義援金」 102円

「平成30年7月豪雨災害義援金」 14,491円

「令和元年8月豪雨災害義援金」 29,031円

「令和元年台風19号災害義援金」 58,860円

「令和2年7月豪雨災害義援金」 273,618円

「令和2年7月佐賀豪雨災害義援金」 27,989円

「令和3年2月福島沖地震災害義援金」 5,336円

(4) 火事等の罹災世帯への援助

市民で災害により罹災者が物的・精神的な援護を必要とする場合、見舞金や毛布、日用品等の物資を支給することで、自力更生を支援した。

【評価・課題】

共同募金、赤十字の両事業ともに、佐賀市の事務局を社会福祉協議会が併せ持つて取り組んでいる。

両事業ともに、地域福祉の推進と地域の安全安心につながる事業であるため、継続して取り組む必要がある。